

用語一覧

■第2次柏市教育振興計画策定について(資料3)

ページ数	用語	読み仮名	説明
10	4つの力(4つのC)	よつつのちから(よつつのしー)	毎年度実施している「柏市学力・学習状況調査」の「生活・学習意識調査」の中から、子どもに身に付けさせたい力に関係する40の質問項目を選び、さらにそれを4つの力(「見通す力(Concept)」「挑戦する力(Challenge)」「関わり合う力(Communication)」「自律する力(Control)」)として整理したもの。(後期基本計画P8参照)
11	学びづくりフロンティアプロジェクト	まなびづくりふるんていあぷろじえくと	児童生徒の「学ぶ意欲」と「学ぶ習慣」を育むことを目的として、教育委員会関係部署が学校図書館・ICT活用、柏市が独自に配置する教職員の配置、放課後子ども教室の充実等の横断的な支援を行うプロジェクト。平成25年度から毎年1~2中学校区の小中学校をプロジェクト校として公募し、支援メニューから各学校が必要とする支援を3年間集中的に行うことで、各学校が抱える課題の解決を図ります。
11	STOPitアプリ	すとっぷいっとあぷり	匿名で柏市教育委員会にスマートフォンやパソコン等で報告、相談できるアプリ。市内中学校全学年に導入。令和2年度は、全小学校で6年生にも導入しています。
11	スクールソーシャルワーカー	すくーそーしゃるわーかー	教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた環境にさまざまな方法で働きかけて支援を行う者。
11	医療的ケア看護師	いりょうてきけあかんごし	小中学校に在籍し、医療的ケア(喀痰吸引、経管栄養等)を必要とする児童生徒を支援するために、市費により配置する看護師資格を持った者。医療的ケアを実施し、必要に応じて学習及び生活面のサポートも行い、当該児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援します。
12	ICT	あいしーていー	Information and Communication Technologyの略。教育分野では、情報コミュニケーション技術と訳されます。パソコンや実物投影機、電子黒板、プロジェクターなどのハードウェアやソフトウェア、インターネットなどを活用する技術を指します。
12	GIGAスクール構想	ぎがすくーこうそう	児童生徒1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するとともに、並行してクラウド活用推進、ICT機器の整備調達体制の構築、利活用優良事例の普及、利活用のPDCAサイクル徹底等を進めることで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想。GIGAはGlobal and Innovation Gateway for Allの略。
12	IT教育支援アドバイザー	あいていーきょういくしえんあどばいざー	インターネットやコンピュータを活用した授業や研修、教材作成などについて、専門的知識・技術に基づき市立小中学校の支援を行うため、市費により配置する者。
12	プログラミング教育	ぷろぐらみんぐきょういく	児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動。
12	コミュニティ・スクール	こみゆにてい・すくーる	学校運営協議会【学校と保護者や地域住民等の代表者が学校運営や当該運営への必要な支援に関して協議する機関。校長が作成する学校運営の基本方針を承認する権限があり、学校運営等に関し、教育委員会や校長に意見を述べることができます。】を設置している学校。
12	放課後子ども教室	ほうかごこどもきょうしつ	小学校の特別教室等を活用し、放課後や夏休みに、地域住民の参画を得ながら、学習や様々な体験型講座等の取組を実施する事業。
12	「みんなの子育て広場」	みんなのこそだてひろば	子育て中の保護者が情報交換を通じて、仲間づくりや不安・悩みの解消ができるよう開催される話し合いの場。学校における各種説明会や授業公開など様々な機会を利用して開催されています。保護者、地域住民、教職員が「支援者」として、自主的に企画・運営しています。
13	ふるさと協議会	ふるさときょうぎかい	地域の身近な近隣センターを活動拠点として、行政と共にふるさと運動の推進及びコミュニティの育成を行う団体として各地域に設立された組織。

■柏市教育振興計画 後期基本計画 年度計画一覧(資料5)

先頭文字	用語	読み仮名	説明
あ	IT教育支援アドバイザー	あいていーきょういくしえんあどばいざー	インターネットやコンピュータを活用した授業や研修、教材作成などについて、専門的知識・技術に基づき市立小中学校の支援を行うため、市費により配置する者。
か	学校支援地域本部	がっこうしえんちいきほんぶ	学校の教育活動を支援するため、地域住民の学校支援ボランティアなどへの参加を調整する組織等。
か	学校図書館アドバイザー	がっこうとしょかんあどばいざー	司書教諭や学校図書館指導員に対して、学校図書館を活用した授業等の指導、支援を行うため、市費により配置する者。
か	学校図書館指導員	がっこうとしょかんしどういん	市立小中学校において、学校図書館を活用した授業の支援や、学校図書館の環境整備、児童生徒に対する読書推進などを行うため、市費により配置する者。
さ	サポート教員	さぽーときょういん	市立小中学校において、通常学級における少人数教育の授業補助や特別な配慮を要する児童生徒への対応を行うなど、児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導に対応するため、市費により配置する教員。令和元年度から役割を明確にするため、学習支援、特別支援、生徒指導に区分しました。
き	教育支援員	きょういくしえんいん	特別支援学級に在籍する児童生徒を中心に、生活及び学習の全般的な支援を行うため、市費により配置する者。また、通常の学級に在籍する児童生徒に対して必要に応じた支援も行います。
き	教育専門アドバイザー	きょういくせんもんあどばいざー	学校図書館、教科指導を行う会計年度任用職員。指導力の強化が必要とされる分野や各校の中核となる教職員を対象として配置します。
す	スクールサポーター	すくーさぽーたー	専門的知識や経験を生かし、いじめや非行等の問題行動に関係する児童生徒及びその保護者への指導を行うため、市費により学校に配置する者(警察官経験者等)。また、教員に対して学校における問題行動への対応、児童生徒の安全確保等に関する相談や助言を行います。
す	スクールソーシャルワーカー	すくーそーしゃるわーかー	教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた環境にさまざまな方法で働きかけて支援を行う者。
せ	生徒指導アドバイザー	せいとしどうあどばいざー	経験の浅い教職員へのサポートや保護者対応、学級が機能しなくなった状態(いわゆる学級崩壊)への対応及びいじめ問題解決に向けての訪問相談等を行うため、市費により配置する者(主に教職員経験者等)。(令和2年度から学校経営アドバイザーに名称変更)
ほ	放課後子ども教室	ほうかごこどもきょうしつ	小学校の特別教室等を活用し、放課後や夏休みに、地域住民の参画を得ながら、学習や様々な体験型講座等の取組を実施する事業。
め	メンタルフレンド	めんたるふれんど	市立中学校の保健室や相談室などに登校している生徒に対して、学習指導や心の悩みなどを中心にカウンセリングを行うため、市費により配置する教職課程または心理学、心理学隣接諸学科を専攻している大学生・大学院生等。(令和2年度から学習支援スタッフに名称変更)